議会だより

横芝光町

Yokoshibahikari
Assembly News

第82号
2026年(令和8年)
11月1日発行



10/7 白浜保育園おいもほり

●９月定例会 …… ２～３Ｐ
●横芝光町の町政を問う！ 一般質問5名 …… ４～９Ｐ
●二常任委員会決算調査・山武郡市議会議員研修会 …… １０～１２Ｐ
●千葉県町村議会議員研修会・議会ダイアリー …… １３Ｐ
●議会を傍聴しませんか・編集後記 …… １４Ｐ

■発行／横芝光町議会　■編集／横芝光町議会広報委員会
〒 289-1793 千葉県山武郡横芝光町宮川 11902　TEL.0479-84-1246 FAX.0479-84-2713

《9月定例会》
令和７年度
各会計決算を認定

令和8年9月定例会は、9月2日に招集され17日間の会期で開催されました。
定例会に提出された議案は、町長提出14議案と報告3件で、いずれも慎重な審議が行われ、原案どおり可決・認定されました。
また、5名の議員による一般質問を行い、9月17日に閉会しました。

議決結果《９月定例会》

賛成＝○　反対＝●

議案14件、報告3件のうち、賛否が分かれた案件は4件でした。議案名中の「横芝光町」と「～について」は、省略表示しています。

議案番号	議案名	議決結果	1 森 大地	2 内田 美穂	3 霞 浩子	4 市原 成一	5 印東 彦治	6 小倉 弘業	7 森川 貴恵	8 秋鹿 幹夫	9 宮薗 博香	10 山﨑 義貞	12 鈴木 輝男	14 川島富士子	15 鈴木 克征	16 鈴木 唯夫
議案第１号	認可地縁団体印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	（注）議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。賛否同数の場合のみ、「議長採決」として表明します。	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第２号	令和８年度一般会計補正予算（第２号）	原案可決	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議案第３号	令和８年度介護保険特別会計補正予算（第１号）	原案可決	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議案第４号	令和８年度町営東陽食肉センター特別会計補正予算（第１号）	原案可決	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議案第５号	令和８年度病院事業会計補正予算（第１号）	原案可決	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議案第６号	令和７年度一般会計決算の認定	認　定	○	○	○	○	○		○	○	○	●	○	○	○	○
議案第７号	令和７年度国民健康保険特別会計決算の認定	認　定	○	○	○	○	○		○	○	○	●	○	○	○	○
議案第８号	令和７年度後期高齢者医療特別会計決算の認定	認　定	○	○	○	○	○		○	○	○	●	○	○	○	○
議案第９号	令和７年度介護保険特別会計決算の認定	認　定	○	○	○	○	○		○	○	○	●	○	○	○	○
議案第10号	令和７年度町営東陽食肉センター特別会計決算の認定	認　定	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議案第11号	令和７年度病院事業会計決算の認定	認　定	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議案第12号	令和７年度農業集落排水事業会計決算の認定	認　定	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議案第13号	財産の取得（小中学校用タブレット端末の購入）	原案可決	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議案第14号	横芝中学校テニスコート舗装改修工事請負契約の締結	原案可決	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
報告第１号	令和７年度一般会計継続費の継続年度終了による精算															
報告第２号	令和７年度健全化判断比率の報告															
報告第３号	令和７年度資金不足比率の報告															

令和７年度　会計別歳入歳出決算額

区分		歳入決算額（A）	歳出決算額（B）	歳入歳出差引（A）−（B）
一般会計		166億5,196万8千円	159億4,747万円	7億449万8千円
特別会計	国民健康保険	25億756万4千円	24億9,017万9千円	1,738万5千円
	後期高齢者医療	3億9,522万2千円	3億6,303万4千円	3,218万8千円
	介護保険	27億3,069万1千円	25億5,525万7千円	1億7,543万4千円
	東陽食肉センター	2億9,578万1千円	2億2,486万8千円	7,091万3千円
東陽病院事業会計	収益的収支	15億6,784万8千円	16億8,968万6千円	△1億2,183万8千円
	資本的収支	9,657万円	1億3,606万6千円	△3,949万6千円
農業集落排水事業会計	収益的収支	6,513万4千円	6,042万4千円	471万円
	資本的収支	4,353万7千円	4,219万2千円	134万5千円

※東陽病院事業会計の資本的収支額で不足する3,949万6千円は、過年度分損益勘定留保資金から補てんしました。

報告第２号

令和７年度健全化判断比率の報告

（単位：％）

実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
― （14.01）	― （19.01）	5.2 （25.0）	36.6 （350.0）

※表中(　)書きは、横芝光町の早期健全化基準を記載。
※実質赤字額又は連結実質赤字額がない場合、将来負担比率が算定されない場合は、「－」を記載。

報告第３号

令和７年度資金不足比率の報告

特別会計の名称	資金不足比率	備考
病院事業会計	―	事業の規模 9億2,187万円
農業集落排水事業会計	―	事業の規模 726万1千円
東陽食肉センター特別会計	―	事業の規模 2億3,879万2千円

※資金不足額がない場合は、「―」を記載。

川島仁氏が町議会議員を辞職

８月17日付けで一身上の都合により川島仁氏が辞職願を提出し、議長が同月３１日付けで許可しました。これにより欠員が２となり、町議会議員は14名となりました。

川島仁氏の辞職に伴い欠員が生じていた職について、後任の議員が下記のとおり決定しました。

民生文教常任委員会委員長　　鈴木　輝男　議員
民生文教常任委員会副委員長　　鈴木　唯夫　議員
東総衛生組合議員　　鈴木　輝男　議員

※議会運営委員会委員については、１名減となります。

9月定例会 一般質問

横芝光町の町政を問う！



森川　貴恵　議員・・・Ｐ５

◆教育関係は

◆災害対応への強化は



宮薗　博香　議員・・・Ｐ６

◆東陽病院を有効活用する方法を

◆将来の地域情勢を踏まえた対応を



森　大地　議員・・・Ｐ７

◆学区外就学申請の簡素化は可能か

◆光小学校通学路の安全確保は

◆首都圏 CCS 事業の住民説明は



山﨑　義貞　議員・・・Ｐ８

◆防災対策の充実を

◆農業支援の充実を

◆成田空港の土地収用法の考えは



川島　富士子　議員・・・Ｐ９

◆妊婦健診の自己負担ゼロの実現を

◆働き方改革の促進・選択的週休３日制の導入を

◆町小・中学校におけるオンライン英会話導入を

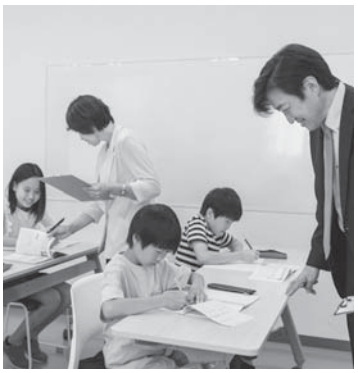
◆本町における手話言語条例の制定を



森川貴恵（もりかわたかえ）議員

Q 令和8年度全国学力・学習状況調査は

A 日頃の授業改善の成果が見られる



教育関係は

Q 当町児童・生徒の全国学力・学習状況調査の実施状況は

A 小学校6年生、中学校3年生を対象に4月に実施。6年生159名のうち147名、中学3年生172名のうち152名に実施しました。

Q 学力及び学習状況の集計結果から見えるものは

A 数値は全国平均と比較すると下回っていますが、昨年度と比較すると中学数学の平均正答率が5ポイント程度上がるなど、日頃の授業改善の成果が見られる教科も出ています。

Q 今後更なる向上のために行うことは

A 小学校では、協働的な学びを増やし対話を重視した授業を行います。中学校英語では、さらにリスニング力を高めるよう努めます。

Q 課題がある場合、その解決のために行うことは。

A 学校ごとに課題を洗い出し、授業改善や教科指導に関する校内研修の充実を図ります。教育委員会として、各校と情報を共有し、適切な指導・助言を行います。

Q ICT教育の効果はどのように上がっているか

A 教員が学習状況や提出状況を把握しやすくなったことで、一人ひとりの理解度に応じた支援が行いやすくなり、個別最適な学びと協働的な学びの充実につながっています。

Q ICT教育の弊害はあるか

A 長時間にわたる端末使用に伴う姿勢の悪化や視力の低下、睡眠等の健康面への影響が懸念されたり、情報の真偽を十分確認しないまま受け取ったりすること、さらには情報モラルや個人情報保護の面での課題があります。

Q デジタル教科書を今後どのように進めていくのか

A 授業における効果的な活用を進めるとともに、情報活用能力や情報モラルの育成、教員のICT活用指導力の向上にも取り組んでいきます。

災害対応への強化は

Q 令和元年房総半島台風（台風15号）の対応から学んだことは

A 長期停電対策を地域防災計画に反映するとともに、役場や町民会館への非常電源の確保や防災行政無線のバッテリー容量の増大、ライフライン確保のため各関係機関との協定書を締結し相互の連携が図れるよう進めてきました。

Q 今後の災害に生かしていくことはあるのか

A 防災気象情報の変更など、その都度、国や県と連携して、地域防災計画等の修正や過去の教訓を継続的に検証し防災対策及び周知に努めていきます。

Q 防災対策として新しく取り入れたことは

A 令和7年度に横芝小学校駐車場及び町民会館前に災害時用トイレ貯留槽を設置しました。更に「B&G財団の防災拠点事業」により、牽引用トレーラー型車いす対応モバイルトイレや小型油圧ショベル、スライド式ダンプや定員6名の救命ボート、3000wポータブル電源ソーラータイプ等の購入を進めています。

Q 東陽病院を有効活用する方法を

A 持続可能な病院運営に努める



宮園博香（みやぞのひろよし）議員

Q 東陽病院は自治体病院として、不採算部門も対応していることから赤字が出ることは仕方がないと理解はしています。しかしながら、現在の運営状況はいかがなものか、患者視点に立った運営がなされているのか、それらを考えることなく非常に厳しい運営状況に陥っていると思われます。このままでは、いつまで運営できるか心配でなりません。私が思うには、現在の東陽病院は医師をはじめとする医療スタッフの給与を支給している場所で、住民の利便を図るために運営されているように余り感じられません。施設を有効に活用するための方法を早急に考えなければならない状況にあると思います。管理者であります町長の考えを伺います。

A 人口減少などにより入院・外来ともに患者数が減少、医業収益の減収が続いています。一方支出では、中東情勢悪化に伴う原油高に加え円高も重なり診療材料費や医薬品の高騰、加えて給与費など人件費増も相まって医業費用は増加し、非常に厳しい病院運営を強いられています。このように経営環境は従来にも増して厳しい状況ではありますが、町内唯一の病院でありますので、町民が安心して医療の提供を受けられるよう持続可能な病院運営に努めてまいります。

Q 病院施設は一般的に40年と言われていますが、東陽病院は築35年ぐらいになります。そうしますと、今後の病院運営について、将来の地域情勢等を踏まえしっかりとした考え方をもって運営していく必要があります。そして、企業債の残高合計は約２億２３０万円あり、累積赤字も15億９，２００万円程度あります。それらは今後どのように対応していくのかについても、検討していく必要があると思いますが、管理者である町長の考えを伺います。

A 東陽病院は、平成３年に現在の場所に移転、新築してから35年が経過し、当該施設の耐用年数と言われる40年に近づいています。東陽病院では病院施設改修計画を作成し、限られた予算の中で劣化状況や緊急性などを勘案、優先順位をつけて施設や設備の更新・改修を実施、病院施設の長寿命化を図っています。施設改修にかかる資金については、企業債を有効活用し、返済計画に基づき計画的に償還しています。また、累積赤字につきましては、経営強化プランに基づき診療単価向上や病床機能の適正化など、経営改善に取り組んでいますが依然厳しい経営状況にあります。今後、病院の方向性・運営方針と合わせて改善していきたいと考えています。東陽病院は建て替え時期を迎えますが、引き続き施設の適正管理に努めるほか、予防保全による長寿命化を図り、病院施設の維持に努めます。

※その他の質問

○新年度予算
・編成方針は
・総合計画（実施計画）との整合性は
・自主財源の確保はどのような考え方で計上するのか
・義務的経費はどのような考え方で計上するのか
・投資的経費はどのような考え方で計上するのか

○食肉センター
・統合食肉センター計画の進捗状況は



森（もり）　大地（だいち）　議員

Q 学区外就学申請の簡素化は可能か

A 負担軽減のため、調査研究する

Q 現状の学区外就学申請は毎年更新になっているが、これを簡素化し保護者、教育委員会の負担軽減に努めることは可能か。

A 毎年度申請書類を提出していただくことは、保護者の皆様にとって一定の負担であると認識しております。一方で、学区外就学申請の可否につきましては、児童生徒を取り巻く状況が年度ごとに変化する可能性があることから、毎年度確認する必要がございます。しかしながら、保護者及び教育委員会双方の負担軽減は重要でありますことから、他自治体の事例等も参考にしながら、可能な範囲で簡素化について調査研究してまいります。

Q 光小学校通学路の安全確保について、町は通学路の草木や木の張り出しに関してどのように管理しているか。

A 教育課と共に道路を管理する都市建設課及び山武土木事務所、交通安全を所管する環境防災課、山武警察署が合同で通学路点検を毎年実施しております。

Q 所有者への草木の剪定指導等を町は行っているか

A 個人の敷地に生えている樹木は土地所有者の所有物でありますので、それが雑木であっても土地所有者に通知することを基本としております。また、現況がわかるよう写真を添えて送付しております。

Q 光小学校通学路（北側）についての今後の予定は

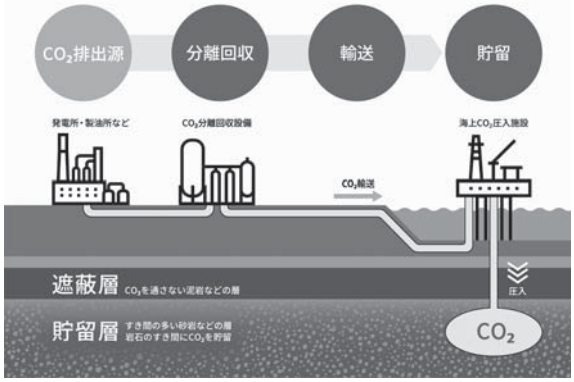
A 今後も巡回及び通学路点検を実施し、枝葉の張り出し等で危険となっている箇所に対しては、その土地所有者に適正に管理されるよう文書で通知します。また、緊急性が高い場合には、道路上の枝葉の伐採・除草等を町でも行ってまいります。指摘箇所については、都市建設課で現地を確認した結果、木の枝が道路上に出ており、車の通行に支障をきたしている状況であったため土地所有者へ伐採を依頼しました。

Q 首都圏ＣＣＳ事業に関して事業者側の説明が不十分と思われないような今後の取り組みは

A 当町では7月から、首都圏ＣＣＳ株式会社が発行する「うみとみらい通信」を、町広報紙配布に併せて地区回覧を実施するほか、町ホームページに掲載しております。この「うみとみらい通信」は、現在九十九里沖で試掘作業を行っている首都圏ＣＣＳ株式会社が、地域住民の皆様に事業の理解を深めていただくために毎月発行しているもので、7月号では掘削作業の概要やスケジュール等について、8月号では掘削装置の様子等が、9月号では地下調査の目的が掲載されました。

Q この事業の実施により、国や施工業者はメリットを享受するが九十九里沿岸地域住民には具体的なメリットが感じにくい。今後町として地域住民へのメリットの確保、還元についての考えは。

A 現時点では、当町への直接的なメリットは示されておりません。今後、地域住民の皆様へどの様に還元していけるのか、事業者との対話を重ねながら調整に努めてまいります。



出展：首都圏 CCS

Q 指定避難所の備蓄の現状は

A 指定避難所13カ所で備蓄



山崎義貞（やまざきよしさだ）議員

Q 指定避難所の環境整備、備蓄品の現状は。

A 指定避難所は13カ所で、それぞれ防災倉庫を設置して備蓄をしています。役場防災倉庫には各種給水タンク、女性用品を含む生活必需品、災害対応品など災害時に必要と思われる様々な備蓄品を確保していますが、大規模な災害が発生した場合、現在の備蓄では不足することがあります。町では災害発生時における各協定に基づき国や県、関係団体及び企業に要請してまいります。



Q 耐震基準が2000年に再度強化された。耐震事業制度を利用しやすいよう見直すべきではないか。

A 耐震に対する補助事業として、木造住宅耐震診断補助事業と木造住宅耐震改修補助事業を行っています。どちらも対象は昭和56年5月31日以前に建築され、もしくは着工された一戸建ての木造住宅及び併用住宅です。補助金額について耐震診断補助事業は、診断に要する費用に対して補助割合3分の2、上限額が6万円です。また、耐震改修補助事業は診断の結果、耐震性能が一定以下であった場合に補助割合が5分の4、補助限度額が100万円となっています。周知のため、広報5月号とホームページに掲載をし、固定資産税納税通知書が発布される際に、町内居住者に対しチラシを同封させてもらい、啓発に努めています。

農業振興の支援を

Q 「みどりの食料システム戦略」は、食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現するための長期戦略で2050年までの主な数値目標が示されています。農林水産業からのCO2排出量削減、化学農薬、化学肥料の使用量を低減する。有機農業の取り組み面積を全体の25%相当に拡大するなどの目標がありますが町の取り組みは。

A 化学農薬及び化学肥料の使用低減については、千葉県が推進する「ちばエコ農産物」の認証取得を促進するとともに、スマート農業に関する補助制度を活用し、農業用ドローンによる薬剤散布など、省力化と適正な農薬使用につながるスマート農業技術の導入を支援しています。

Q 耕作放棄地が増加しているが、荒廃農地にならないような支援策は。

A 新規就農者への支援や担い手の育成・確保を図るとともに、農地中間管理機構との連携を強化し、農地の受け手とのマッチングを促進するなど、農地の有効活用につながる取り組みを進めていくことが重要であると考えます。

成田空港の土地収用法

Q 四者協議会における土地収用法容認に対する町長の認識は

A 成田空港の更なる機能強化の実現に向け、必要な用地確保を確実にするために土地収用制度を活用する場合であっても、引き続き関係者の理解を得るため、誠心誠意、丁寧に任意の取得に向けた努力を継続することが重要であると考えます。



川島（かわしま） 富士子（ふじこ） 議員

Q 妊婦健診の自己負担ゼロの実現を

A 公費負担のあり方を検討

Q 妊婦健診の自己負担ゼロの実現を

A 町は、妊娠届出時に、妊婦健診14回分の費用、合計10万9千円を助成する受診票を交付しておりますが、妊婦健診は健康保険の適用外で、医療機関ごとに金額設定に相違があることや、医師の判断や妊婦本人の希望により追加の検査を行うなど、助成金額を超え、自己負担が発生しております。今後、国や県の動向を注視しながら、公費負担のあり方を検討してまいります。

Q 働き方改革の促進・選択的週休3日制の導入を

A 職員がワーク・ライフ・バランスを確保し、育児や介護などと仕事を両立しながら、安心して能力を発揮できる職場環境を整備することは、職員の定着や人材確保、行政サービスの質の維持・向上を図る上で重要な取組であります。導入されている千葉県や先行して導入している自治体の利用状況や制度運用の効果、課題等について情報収集を進め、現在本町が導入しているテレワークや時差出勤等の制度との組み合わせも含め、業務の実態に即した、より柔軟な働き方について調査研究してまいります。

Q 町小・中学校におけるオンライン英会話導入を

A オンライン英会話の導入は、児童生徒のグローバル化に対応したコミュニケーション能力の向上を図るのみならず、教員の授業準備や指導に関わる負担を軽減し、働き方改革を推進するうえでも非常に有効な施策であります。現在、児童生徒一人ひとりが発話する時間を十分に確保することや、個別最適な学びを提供することには一定の課題があり、教育委員会は、児童生徒の「英語力向上」を加速させるとともに、教員が本来行うべき児童生徒と向き合う時間を確保するための「働き方改革」を両立させる重要な手段として、調査研究してまいります。

Q 本町における手話言語条例の制定を

A 手話言語条例は、令和8年8月現在、全国で660自治体、千葉県内では、県と10市が制定しており、手話への理解と普及を通じて、誰もが安心して暮らすことができる共生社会の実現を目的としております。手話は、大切な言語であり、意思疎通の基本的な手段になりますが、当町では、令和9年度を開始期とする次期障害者計画の策定を進めており、地域の特性や住民ニーズを踏まえ、課題解決のために必要な施策を的確に盛り込み、障害のある方が安心して暮らせる共生社会の実現を目指してまいります。

※その他の質問

○更なる防災体制の点検・強化

①受援計画の策定状況と実効性は

②災害業務ごとの「必要人数」と「不足人数」の算定を

③応援要請を判断する基準と要請ルートは

④応援職員を受け入れて、直ちに働ける環境の確保を

⑤相互応援協定を「締結しているだけ」にしない取り組みは

⑥受援訓練と計画の定期的な見直しを



各種会計を徹底検証

～令和7年度　決算調査～

令和7年度の決算調査は、9月7日～9日の3日間、各常任委員会に分かれて開催されました。各分野の決算を徹底調査し、これからの行政運営を執行するうえで、貴重な討論が交わされました。

※議長・監査委員は出席しません

総務経済常任委員会　9月7日・8日

総務経済常任委員会所管課
総務課・税務課・財政課・出納室・企画空港課・都市建設課・未来づくり課・産業課・農業委員会・環境防災課・食肉センター

【側溝清掃作業委託】

Q 川島富士子議員
側溝清掃の作業委託とは

A 都市建設課
町道H173号線で、光楽園老人ホームの前のしおさい道路になります。大型



側溝でボランティアでは蓋が開けられないところで、土が堆積して水が流れないと地区から要望があり、町がバキュームで吸い込む作業を業者委託しました。また、大型の側溝以外で生活排水を流しているようなところは、町内一日清掃などでご協力いただければと思います。

【基金増額の考えは】

Q 市原成一議員
近年、基金残高が減少傾向にあります。今後は公共施設の建て替え時期を迎えるなど、更に財政需要が増大するものと予測します。これらに備え基金を増額する考えはありますか。

A 財政課
基金は少しでも増額したいとの考えは持っています。また、現有基金も、利率の有利なものを選択し運用に努めています。併せて今後の予算編成ではスクラップ&ビルドの考え方により、一層の歳出抑制に努めてまいります。

【道路改良事業】

Q 宮薗博香議員
道路改良事業については、関係課等とも十分協議をしたうえで、早期に完成できるように頑張っていただきたい。特に、町道Ⅱ－10号線（下町踏切を横断し、1号線へ南下する町道）は、通学路でありながら非常に危険な状況にありますので、早期に改善をしていく必要があると思います。

A 都市建設課
只今のご意見を踏まえた対応をしていきたいと思います。また、町道Ⅱ－10号線につきましては、ＪＲと協議を行い、令和12年度から踏切の設計に入ると回答をいただいておりますので、完成予定時期は概ね5年ほど延びると認識していただければと思います。

【横芝光ＩＣ周辺産業用地】

Q 森川貴恵議員
横芝光ＩＣ周辺産業用地に事業所立地を検討している企業5社の今後進展の可能性は

A 未来づくり課
企業進出には地下水の利用が必須、またハザードについてリスクが少ないことを求められています。そのため、まず今年度補正でハザード調査を行い、地下水調査についても今後実施する必要があると考えています。

【町道Ⅰ－8号線】

Q 森川貴恵議員
町道Ⅰ－8号線と県道が交わる点に信号機は

A 都市建設課
信号機がない交差点として整備を進めています。



総務経済常任委員会

民生文教常任委員会　9月9日

民生文教常任委員会所管課
健康こども課・福祉課・住民課・東陽病院・教育課・社会文化課

【新たな居住者獲得事業】

Q霞浩子議員

新たな居住者獲得事業、1，000万円強で実施していますが、具体的にどのような取り組みがあったかをご説明ください。

A企画空港課

駅北やインターチェンジ、こどもの国跡地の整備、また、特色ある教育カリキュラムの展開として、英語教育に特色あるプログラムを展開しようということで、委託事業者の支援をいただきながら、教育委員会も含めて検討しているところであります。また、海・川の魅力を活かしたイベントの実施について、来年度の実行に向けて検討しているところであります。



【オンライン学習サービス負担金】

Q森大地議員

オンライン学習サービス負担金のUdemy Businessの具体的な活用について

A企画空港課

オンライン学習サービスUdemy Businessはデジタル推進室の発足時からDXを推進するため、職員のDXに関する能力を高め、人材を育成する方針から令和6年度から開始しております。パソコン上の様々なツールと多岐にわたる業務を連携させどのように業務の効率化を図れるか、といった講座が多数あり、対象職員が受講しています。



【東陽病院人間ドック受診件数】

Q鈴木唯夫議員

東陽病院の人間ドック受診件数を増やすための方策は

A東陽病院

人間ドック待機部屋を3階にある2部屋を使用していましたが、院内移動の不便、待機する部屋構造の問題で場合によっては2名の受診しか出来ない制限等がありました。このことから、1階に人間ドック待機ルームを整備し、1日3名の受診が可能となりました。予約人数枠が2名から3名に増え、各種検査室へのアクセスが格段に向上しました。今後、PRなどを実施しながら、受診者増加に努めます。

【介護保険料】

Q山﨑義貞議員

介護保険料は年金受給額が少額の場合は年金から引かれずに普通徴収になり、結果滞納となってしまう。収入の少ない人が介護保険を利用できなくなってしまうのではないか。

A福祉課

国民健康保険税や他の税金等と同様に、それぞれ個別に分割納付等の相談に応じ、なるべくペナルティーを適用しないで済むよう考えております。

【国保会計】

Q秋鹿幹夫議員

特定健診受診率向上事業はどの様な取り組みか。またこの事業に対する交付金は入っているか。

A住民課

AIで分析を行い、個人の特性に合った6種類の内容のはがきを2回送り、受診率の向上を図るものです。財源については100%が交付金の対象です。

要望 秋鹿幹夫議員

国保会計は一般会計からの繰り入れも行っているが、依然として厳しい状況です。出来るだけ交付金を活用した事業で効果を上げて貰いたい。


民生文教常任委員会

【シルバー人材センター活動支援事業】

Q 印東彦治議員

運営費補助金が５００万円で、加算分１２０万円を含め６２０万円の補助金を町から支出していますが、どのような理由で支出されているのか。

A 福祉課

運営費補助金５００万円の理由ですが、国の制度における基準がＡ・Ｂ・Ｃにランク付けされています。当町のシルバー人材センターは「Ｂランク」に該当するため、その基準に基づき運営費として５００万円を支出しております。また、１２０万円の補助金につきましては、高齢者活用、現役世代雇用サポート事業分のデジタル利用促進事業補助として１２０万円を支出しております。



【特別教育支援員の配置】

Q 内田美穂議員

特別教育支援員の配置に関し、予算では18名で計上されているが、決算では前年度と比較して１名増えているものの17名となっている。１名増えた背景とその効果、また17名となった理由は。

A 教育課

学校からの配置要請があり１名増やした。特別な支援を必要とする児童生徒へ必要なサポートをすることで先生方の支援にもなっている。17名にとなった理由は人材を確保できなかったため。



山武郡市議会議員研修会

2026 7/24 Fri

山武市成東文化会館「のぎくプラザ」にて、第60回山武郡市議会議員研修会が開催され、自治体議会研究所の髙沖秀宣氏を講師にお招きし、「議員力と議会力」をテーマに講演を拝聴しました。

講演では、議員一人ひとりが住民の声を的確に捉え、政策課題を見いだし、調査・研究を重ねながら政策提言につなげていく『議員力』についての認識は高いが、これに繋がる政策立案を過半数の議員間で議論を深め、議会全体として政策形成機能を高めて政策実現に向け活動する『議会力』が低いので、強化していく事が必要である。そのためには議会基本条例や政治倫理条例を制定し議員の資質向上に努めるべきとの事でした。



また、議会は単なる議決機関ではなく、憲法に定められているとおり、議案の審議、熟議を行う機関であり、こういった意識が低いと、議会の空洞化を招くというお話もあり、意識改革の重要性についても学びました。



今回の研修を通じ、議員として常に研鑽を重ねるとともに、議会としての役割と責任を改めて認識しました。今後も住民の皆さまの声を大切にし、より信頼される議会を目指して活動してまいります。

2026 7/31 Fri

千葉県町村議会議員研修会



千葉県町村議会議員研修会に参加し、講義を受けました。第１部は、小山田理恵子氏を講師に「これからの地方議員に期待されること」がテーマで、人口減少社会において議員には、地域への共感（情）、データや法制度に基づく政策実現力（理）、SNS や AI 時代における情報発信・ハラスメント防止等の価値観の変化に対する姿勢（時）が求められ、現場の声と根拠に基づく政策提案に加え、公正・透明な議会運営と適切な情報発信を徹底し、住民に信頼される議会づくりが重要との内容でした。第２部では、永濱利廣氏からの「日本経済の現状と先行き」についての講義でした。現状のスタグフレーション懸念や円安、原油価格の動きの解説があり、その上で持続的な経済成長に向けた国が主体となった投資の重要性が示されました。AI・半導体、造船、宇宙、海洋といった先端・戦略分野への集中投資、そして民間投資を促す複数年度予算など、予算編成のあり方を見直す必要性を強調されていました。本研修で得た新しい視点を活かし、地域課題の解決に向けた先導的な役割を果たすなど、未来志向の、活力ある議会運営に取り組んでまいります。

議会ダイアリー

8月

3日・総合計画審議会
4日・食肉センター運営協議会
7日・八匝水道企業団議会令和８年８月定例会
8日・ヤッサ東金祭
16日・鬼来迎
19日・例月出納検査（～20日）
・監査委員決算審査（～21日）
・令和８年山武郡市広域水道企業団議会８月定例会及び議会協議会
20日・山武郡市広域行政組合議会決算審査報告
・令和８年第２回山武郡市広域行政組合議会定例会
24日・議会運営委員会
・匝瑳市ほか二町環境衛生組合議会令和８年８月定例会
28日・議会議員全員協議会

9月

2日・９月議会定例会（１日目）
4日・９月議会定例会（２日目）
・議会議員全員協議会
7日・総務経済常任委員会決算調査（～８日）
9日・民生文教常任委員会決算調査
12日・白浜地区敬老会
17日・議会運営委員会
・９月議会定例会（３日目）
・広報委員会
19日・横芝地区敬老会
24日・例月出納検査

10月

2日・令和８年東総衛生組合議会10月定例会
3日・上堺地区福祉のつどい
5日・男女共同参画推進会議
7日・匝瑳市横芝光町消防組合議会令和８年９月定例会
8日・広報委員会
9日・町農業振興大会
10日・横芝光スポーツフェスタ２０２６
・日吉・南条・東陽地区合同敬老会
13日・令和８年山武郡市環境衛生組合議会第２回定例会
14日・広報委員会
・議会運営委員会
・成田国際空港に関する勉強会
20日・二常任委員会合同視察研修（～22日）
22日・介護保険運営協議会
25日・横芝光町誕生20周年記念式典
26日・例月出納検査
・定期監査
・主要地方道飯岡一宮線バイパス事業の早期完成における要望活動
27日・立地適正化計画策定委員会
28日・定期監査（～29日）
29日・令和８年第２回千葉県後期高齢者医療広域連合議会全員協議会
31日・大総地区福祉のつどい

2026 10/6 Tue

白浜保育園あきまつり







議会を傍聴しませんか

12月定例会は、12月上旬から開催する予定です。議会開会中は、議会を傍聴することができます。

なお、12月定例会の日程等詳細については、決定次第、防災行政無線及び町ホームページでお知らせいたします。

※会議録の掲載は、議会終了後、約3ヶ月を要します。現在、令和8年7月議会臨時会までご覧いただけます。

≪傍聴席での主な注意事項≫

- 電子機器（携帯電話・カメラ・パソコン等）は使用できません。
- 録音機や拡声器類を携帯した方、酒気帯び等の方は入場できません。
- 飲食や喫煙はできません。
- 私語、談話又は拍手をしたり、みだりに席を離れることはできません。



※HP議会会議録

編集後記 Editor's Note

記録したことのないような豪雨災害が千葉県でも起きました。農作物にも多大な被害があり、地球環境の変化を感じた年だったと思います。経験したことのない状況であり、同じ様な災害が起きることを想定しなければならないということだと思います。

さて今年も残り２ヶ月、生産資材の高騰で企業も農家も大変、物価高で私たちの生活はますます厳しくなっています。何より今年の米価暴落での離農が心配です。町の基幹産業は農業ですので、農業者支援は、町を元気づける素になるのではないでしょうか。

これからも、議会の様子がわかるような、読みやすい紙面づくりに努力してまいります。引き続きご意見をお寄せください。

広報委員会	委員長	小倉　弘業	副委員長	秋鹿　幹夫		
	委　員	川島富士子／鈴木　輝男／山崎　義貞／市原　成一／霞　浩子／内田　美穂				